



武蔵野市議会議員

ゆ み こ

市議会

きくち由美子 レポート

<連絡先> 〒180-0012 武蔵野市緑町2-2-28 市役所7階 自由民主・市民クラブ控室
 自宅TEL 0422-52-6058 (留守番電話) FAX 0422-53-6489
 E-mail: yumiko-k@dance.ocn.ne.jp

日頃の活動はこちら▶



Ameba

facebook

令和6年度より、

「武蔵野市立小・中学校給食費の無償化」が実現しました!!

私は、令和5年4月の市議会議員選挙において、「市立小・中学校給食費無償化」を公約に掲げ当選させていただきました。私たち夫婦も、子育ての中で教育費がもう少し軽かったらありがたいと感じていました。

学校給食はまさに教育の一環であると考えます。元市教育長もそのように市議会で答弁しております。学校給食法によれば、給食の施設・設備・運営に要する経費は義務教育諸学校の設置者（自治体）の負担とするが、食材費については保護者負担とする規定とされています。

令和5年度は、学年により子ども一人当たりの年間給食費（食材費）は、51,480円～66,640円の保護者負担となっております。

私は、令和5年の一般質問で、松下前市長に対し「市立小・中学校給食費の無償化」を強く求めてまいりましたが、前市長は第六期長期計画・調整

計画の中で議論するとのみ答え、消極的でした。

現在、国会で義務教育学校給食費無償化が議論されておりますが、東京都は独自に、市区町村が公立小・中学校の給食費無償化をする場合、令和6年度は自治体負担の50%、7年度は87.5%を負担することとなっています。本市の場合、市立小・中学校給食費無償化に年間約5億円かかりますので、7年度は約6千万円を市の負担で無償化することができます。

小美濃市長は、令和5年12月の市長選挙でやはり、市立小・中学校給食費の無償化を公約の一つに掲げ（市長公約づくりに私も強く主張しました）、初当選しました。

都の後押しにより、令和6年4月から給食費の無償化が実現しています。



令和6年度 物価高騰対応

「私立等児童生徒保護者負担軽減臨時給付金事業」について

子どもと子育て家庭を応援するため、私立・国立の小・中学校に在籍する児童生徒を持つ家庭の急激な物価高騰に対する負担軽減策として、1万円の臨時給付金（デジタルギフトまたは商品券）を支給します。

対象者は、令和6年12月1日現在、市内在住で私立・国立の小・中学校に在籍する児童生徒2,360名の保護者（2月初旬に郵送で通知）。

なお、都立中学校は給食費無償化となっているため、生徒の保護者は対象者になりません。



きくち由美子が予算特別委員会に委員として令和7年度予算を審査！

「市民の命を守るまちづくり 次世代に平和な未来をつなぐ予算」

—令和7年度 予算特別委員会が3月13日から24日まで開催されました—

新年度予算は、「市民の命を守るまちづくり 次世代に平和な未来をつなぐ予算」と位置付けました。初年度となる第六期長期計画・第二次調整計画に掲げられた優先事項を着実に推進するとともに、新たな課題に対応することにより持続可能な市政運営を行っていきけるよう、限られた財源を真に必要な・緊急性が高い事業に重点的かつ効率的に配分することを基本に編成いたしました。一般会計予算は、880億2,800万円で、前年度に比べ65億500万円、8.0%の増となりました。

私は令和7年度予算特別委員会の委員として、昨年に続き診査に参加させていただきましたが、あらためて武蔵野の市民の皆様の高い担税力に感謝しております。

(注：1万円未満切り捨て)

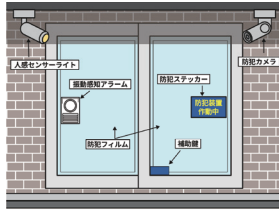
◆ 特徴ある主な事業 ◆

住まいの防犯対策補助事業 (新規事業)

▶ 予算額 1,421 万円

全世帯を対象に、防犯カメラ・カメラ付きインターフォンの設置や防犯フィルムの貼り付け等、住まいの防犯対策への補助。令和7年4月1日以降に購入した住宅に関する防犯対策費用の10分の9、最大5万円の補助（東京都補助を含む）を行います。

申請受付開始は令和7年6月を予定としています。



24時間利用可能なAEDの設置事業

▶ 予算額 305 万円

市関連施設等にはAED (116台) 設置していますが、夜間・休日に利用できるAEDが少ないことから、(株)セブン-イレブン・ジャパンとの「地域活性化包括連携協定」に基づき、市内のセブン-イレブン各店舗 (最大32店舗) に市が調達したAEDを設置します。また、併せてホワイトイーグル車にAEDを搭載します。



携帯トイレ備蓄に関する意識啓発事業 (新規事業)

▶ 予算額 2,626 万円

全世帯 (全市民) 宛てに引換券を配布し、引換券を持参した市民に対して携帯トイレを無料で配布する (5個ワンセットを一人に1回配布・代理でも受け取り可能)

引き換え期間は令和7年6月～令和7年12月、3駅周辺で配布予定としています。



武蔵野市伝統野菜栽培継続支援事業 (新規事業)

▶ 予算額 400 万円

「東京うど」は武蔵野市が発祥の地とされ、江戸時代から栽培されていたとされる本市を代表する伝統的な野菜です。栽培に係る手間が多く、人出不足、販売価格の低下等の影響で生産者数が著しく減少 (現在8件) しています。次世代へ栽培技術を継承していくため「東京うど」の生産等に要する経費の一部を補助します。



JA東京むさしにて

ムーバス30周年事業 ▶ 予算額 604 万円

ムーバスは、コミュニティバスの先進的なモデルケースとして世間に認知され、全国的に他自治体でもコミュニティバスが運行されるようになりました。令和7年11月に1号線 (吉祥寺東循環) が運行開始から30周年を迎えます。

- (1) 30周年記念式典：11月にデザインマンホール (吉祥寺駅北口付近に設置) や記念ヘッドマークをお披露目する式典を開催します。また、ムーバスデザイングッズ等の制作をします。
- (2) バスナビゲーションデジタルモニターを設置。運行状況を表示するデジタルモニターを吉祥寺駅北口のバス停に設置し、利便性の向上を図ります。



現行のムーバス

30周年を迎えるムーバス1号路線 (吉祥寺東循環) にEVバス1台を導入することとなりました。関東バス株式会社が、国と都の補助金を活用し、EV車両の購入及び充電施設工事を実施します。車両減価償却費及び充電料金等のランニングコストは、これまで通り市が「武蔵野市ムーバス運行事業補助金交付要綱」に基づき補助します。概算車両価格 (税込) 3,215万円 (補助金活用により実質負担は現行ムーバスとほぼ同額の1,930万円となる見込み)。国産EVバスで現在のムーバス同様の乗車定員の車両がなかったため、BYDジャパン株式会社 (中国製) となります。

武蔵野市立第五中学校

各ラーニングを繋ぐ中心となる吹き抜け空間の五中ステップ (3月4日内覧会にて)

令和7年3月から「新しい時代の学び」に対応した新校舎で授業開始！第五中学校改築事業は、令和5年度から新校舎工事に着手し、令和7年1月に新校舎が完成しました。「個別最適な学び」「協働的な学び」のための連続した空間で生徒が主体的に学べる環境が整備されています。

多様な学習方法に対応できる、開放的なラーニング・コモンズ (学校図書館) を整備しています。3月3日から新校舎での生活が始まりました。

新校舎建築費合計 (第二期工事プール他除く) 約43億円、国・都からの補助金 (令和4年度、5年度、6年度合計) 約3億円です (旧校舎解体費も合わせて学校施設環境改善交付金として)。



第五小学校改築事業 第五小学校児童が五中校内の仮設校舎に通学します。希望者はスクールバス通学となります。(令和7年～9年度)